



今こそ考える 世界人権宣言 ～人権の基本に たちかえってみましょう～



世界人権宣言って何ですか？



世界人権宣言は、国連で、多くの命が奪われた二つの世界大戦の反省のもとに、1948年12月10日に採択されました。昨年ちょうど75年を迎えました。



75年前に作られたの。どんな内容なの？



この宣言は、人権の保障を国際的に初めてうたったもので、前文と30の条文からできています。「すべての人々とすべての国とが達成すべき共通の基準」が示してあります。前文で、人権は、どこでも、だれでも、いついかなる時にも尊ばれ、平等で、譲ることのできないものであると述べています。この宣言をもとに、その後の多くの人権条約が制定されています。また、世界各国の憲法や法律にも取り入れられています。

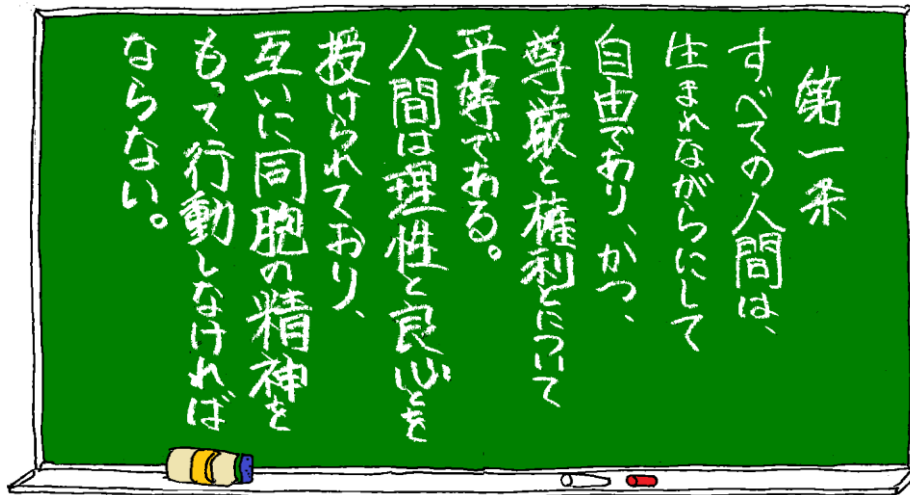
() 内数字は国連での採択年



今も続く 差別・暴力・迫害...



相手の権利と自由を 壊していいという権利はありません。



「世界人権宣言」
第1条
外務省仮訳文より



第1条には、すべての人は、生まれながらにして、自由と尊厳と権利が平等にあるとわられていますね。生まれながらにして…なんだ。



そうですね、生まれた時からずっと備わっているということだね。どこにいても、どんな時もずっと持ち続けているということだよ。何かをして、そのご褒美として与えられたものではないですよ。



権利というのは、すべての人が、ずっと持ち続けることができるのですね。



そうだよ。世界には、人種や皮膚の色、性、言語、信じているもの、考えていることなど違う人がたくさんいます。違うからといって、排除や攻撃などを受けたりしません。生まれながらにしてもっている権利と自由は奪われません（第2条）。そして、人はみんな、生命、自由、身体の安全を守られる権利があるのだよ（第3条）。



今、世界では紛争や難民問題などで、生命の安全や自由を脅かされている地域があります。国内ではいじめ、虐待、ネット上での人権侵害など様々な問題がおきています。どのように考えて進めたらよいのでしょうか。



そうだね。第1条の「同胞の精神」だね。きょうだいのような気持ちで行動しようということです。困っていることがあれば相談のったり、助け合ったりすることが大切だね。また、相手と意見が対立しても、相手が何を考えているのかを知ることですね。知ったうえで行動すると、相手も何かを返してくれます。考えが通い合うと、次の解決策につながると思います。あきらめないことです。自分にある権利は、相手にもあります。決して、相手の権利と自由を壊していいという権利はありません（第30条）。

改めて世界人権宣言の意義を知り、実現に向けて考えてみましょう。

